

海と共に生きる町

美仙沼

本吉町大谷地区

今だからこそ

愛知県から
アプローチ！

自然と人が栄える

豊かなまち～本吉町～



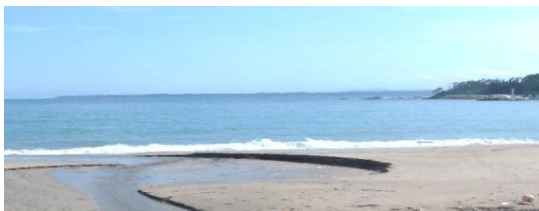
気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤポヤ」



気仙沼市本吉町

宮城県

古くから魚介類を豊富に獲る事ができ、気仙沼市に点在している海岸からは広大な海を臨むことができます。また、地元に住んでいる人が暖かく歓迎してくれます！



仙翁寺

仙翁寺は、曹洞宗の寺院で立派な墨根の本堂は見るものを魅了します。



大谷金山跡・大谷鉱山歴史資料館

～かつて、大谷地区を支えた廃鉱山～



大谷金山は、1976年に閉山するまで操業され、大谷地区の経済を大きく支えたとされています。精錬所は現在立ち入り禁止となっていますが、遠目からでも、長い歴史の貫禄が感じられます。



←萬手観音
東日本大震災で被災された方々の想いや祈りが込められた手が無数にあります。現在、3万手の想いが集まっています。

→資料館が大谷金山の麓にありだれでも利用することができます。



住所：宮城県本吉郡本吉町
高瀬ヶ森58-16
開館時間：10:00～16:00

新しいまちづくりに向けて

残されている課題

時間が経った今でも多くの課題が残されています

●コミュニティの再構築

災害公営住宅等の移転先では、様々な地区から人が集い、その多くは高齢世帯です。地域の見守り活動も縮小傾向にあるため、住民の孤立が懸念されています。そこで新たなコミュニティの再構築を後押しすることが必要となります。

●人口減少を踏まえた対応策

津波で被害が大きかった地域では、大規模なかさ上げ工事が進んでいますが、造成された宅地の多くで利用予定に目処が立っていません。震災後、県外への転出の増加などが原因で人口減少が大きな問題ともなっており、震災により減少した人口の回復までには至っていません。今後、街の魅力をどう高めていくかが課題となっています。

●観光客の減少

発生した津波により、町は壊滅的な被害を受けました。震災以前に人気のあった観光名所も津波に大部分が被害を受けました。現在、観光名所等の再建が進んでいます。震災前と比べると観光客は減少したままとなっています。

●震災の記憶の風化

現在、被害を受けた地域では瓦礫の撤去や住居の再建設などによって、現地は復興が進んでいるように見えます。しかしながら、上記の事をはじめとした、時間が経過したからこそ浮きあがってくる課題はまだ多く残されています。その中で、時間の経過と共に世間が復興したと思いつままれてしまうことで記憶の風化が懸念されます。

大谷海岸の防潮堤

Before



After



津波の被害と今後の対策の為に、大谷海岸駅と大谷海水浴場の2つの観光スポットが失われかけましたが、住民の方々と行政の努力の結果、防潮堤の上に道路を建設することで海水浴場の景観が守られることとなりました。

東日本大震災震災遺構・伝承館

震災で破壊された物が当時のまま保存されている

東日本大震災震災遺構・伝承館とは

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館は、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として活用し、気仙沼市が目指す「津波死ゼロのまちづくり」に寄与することを目的としています。

公式HPより



HPアクセスはこちら！



津波によって校舎の3階に流されてきた車



瓦礫で一杯になったトイレ



生まれ変わった旧気仙沼向洋高校校舎



流されてきた工業物

学校の4階まで津波が来たことを示す錆



学校近くの冷凍コンテナが衝突してできた破損



津波によって屋根が流された体育館



建物の間に挟まった瓦礫



〒988-0037

宮城県気仙沼市魚市場前7-13

営業時間：10～4月 8:00～17:00

5～9月 8:00～18:00



気仙沼港で水揚げされた
海の幸がたくさん！



←魚市場に水揚げされた魚介を産地直売
価格で購入できます。
さらに全国発送のサービスも！

海の市



イカの胴や、ししゃもの卵など、気仙沼でも
ここでしかでしか手に入らない商品を取り
扱っています！→



まぐろ屋

店長におまかせ丼 1580円



サバさばセット 1000円

カネト水産

日本唯一のサメの博物館

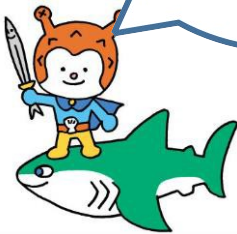
大迫力！！
ホホジロザメが館内奥
でお出迎え。サメの体
の仕組みを知ることが
できます。→



←入場者が気仙沼の人に向
けての応援メッセージを震
災の映像と共に残すことが
出来ます。

記憶をつなぐような東日本
大震災の被害状況や気仙沼
の過去と今、そして未来に
向けての気仙沼の方々の
インタビュー映像など強い
思いを紹介しています。↓

震災とサメを
一緒に知ることが
できる施設だよ！



引用画像: 仙台発インターネットテレビ局アリエーヴィーの
文奈さんの「とうほく復興カレンダー」の投稿写真

シ
ヤ
ー
ク
ミ
ユ
ー
ジ
ア
ム



〒988-0246

宮城県気仙沼市波路上瀬向9-1

営業時間: 5～9月 9:00～18:00

10～4月 9:00～17:00

安波山

日本夜景100景に登録されているため、夜景がとても綺麗！山道には、気仙沼市を一望できる「ひのでのてらす」と「ほしのてらす」があり、万葉集に収められた和歌が描かれた「万葉の詩プレート」が設置されています。

引用先：新日本三大夜景・夜景100選オフィシャルサイト



←登山入り口に「りゅうの階段」があり、龍がお出迎えをしてくれるよ！

運がいいと
ニホンカモシカ
に会えるかも！



写真：安波山頂上から見た気仙沼市

気仙沼美味しいもの巡り



さんま定食

海の市
〒988-0037
宮城県気仙沼市魚市場前7-13
営業時間: 10~4月 8:00~17:00
5~9月 8:00~18:00



めかじきラーメン



マグロカツ
定食

気仙沼内湾



気仙沼には新たに内湾商業施設「迎(ムカエル)」が誕生。若者向けのカフェやショップが充実！

<https://kesenuma-naiwan.jp>

気仙沼漁港



気仙沼の主要産業は漁業。朝早くから漁師さんたちが競りをする声が飛び交います！魚市場の2階には見学スペースがあり、水揚げや競りの様子を間近で見ることができます！

JR気仙沼線・大船渡線BRT

津波の被害を受けたJR気仙沼線、大船渡線の区間をBRT(バス・ラピット・トランジット)が運行中！

真っ赤な車体が目印だよ！

JR気仙沼線・大船渡線BRTホームページ

⁹[\(https://www.ireast.co.jp/railway/train/brt/\)](https://www.ireast.co.jp/railway/train/brt/)



大谷海岸 & 道の駅

大谷海岸は「日本の水浴場55選」に選ばれた海岸で、現地の方が古くから親しんできました。隣接している道の駅では様々な名物料理を楽しむことができます！



道の駅

住所: 〒988-0273
宮城県気仙沼市 本吉町三島41-1
※移転しました



大谷海岸

ご当地グルメ

大谷海岸道の駅で食べられるご当地グルメを一部ご紹介！ここ以外ではなかなか食べられないものばかりです！



メカトステーク
1,500円



フカヒレラーメン
1,000円

名産品の一つであるメカジキを使用した絶品カレー！！



メカジキカレー
1,000円



みかんぶり
1,000円

大谷海岸の変遷

日本一海水浴場に近い駅として全国的に有名でした。津波の被害を受けましたが現在は防潮堤を建設中で2020年の完成を目指しています。

震災前



海岸の近くを電車が走っていました。

現在



現在は砂浜に土壌が積まれています。

今後



堤防の上に道路が通る予定です。

～復興を目指した人々の軌跡～

復興屋台村 気仙沼横丁



震災で店舗などを失った方々が集まり復興屋台村が2011年11月にOPENしました。2017年3月20日を以って閉鎖となりました。

現地の方の一言

震災を受けて、今でもかさ上げ工事が始まっていて復興していない部分もあるが自分の目で確認していただきたい。
被災した部分や復興途中の部分だけでなく、美味しい食べ物や人の暖かさなども楽しんでいただきたい。

復興商店街 南町紫市場



震災で失った商店街をもう一度復活させたいという強い思いから、商店街のみなさんが立ち上がり、2011年12月に悲願となるOPENとなりました。それから6年後の、2017年4月30日を以って閉鎖となりました。そして、2017年11月11日に「南町紫神社前商店街」、「魚町内湾商店会」がグランドオープンしました。

現地の移り変わり

&

中部大学ボランティア・NPOセンターの活動

気仙沼市本吉町の小泉地区と大谷地区。震災以降の変化を見ていきましょう。また、中部大学ボランティア・NPOセンターがこれまで行ってきたボランティア活動を一部紹介させていただきます。

小泉地区



小泉中学校からの風景。
住宅や田畑の作物などが流されてきた痕跡があります。



瓦礫が片付けられ、草が生い茂っています。
また、土地のかさ上げ作業が開始されました



土地のかさ上げ作業が完了し、草も綺麗に刈られていました

2011



←子どもを対象にリズムゲームやダンスを一緒に楽しみました

→仮設住宅を戸別訪問させていただき、傾聴ボランティアを行いました



2013



←この年は子どもと一緒にかるたなどで、楽しみました。毎年違う催しを用意するので、楽しみにしてくれています

→戸別に訪問し、支援物資(トイレットペーパーと、シャープペン)の配布を行いました



2016



←地域の方と一緒にうどん作りを楽しみました

→子どもを対象とした射的ゲームを行い、景品なども用意しました



大谷地区



流されてきた瓦礫が積み重なっています。
以前、倉庫があった場所です。



瓦礫が綺麗に片付けられており、新しく倉庫も建て直されました。



2013年にはなかったプレハブが倉庫の隣に建てられました。また、トラックが停められていることから営業が再開されたことが分かります。



概要

気仙沼マスコットキャラクター
「ホヤぼーや」

リアス・アーチ美術館は、1994年に開館し、伝統文化や芸術を脈々と伝えてきました。加えて2011年の震災以降、震災の記憶を風化させないために1階に常設の展示フロアを設けました。



〒988-0171

宮城県気仙沼市赤岩牧沢138-5

TEL:0226-24-1611

開館時間:9:30～17:00

休館日:毎週月・火曜日/祝日の翌日(土、日・祝は除く)

リアス・アーチ美術館 (震災の記録と津波の災害史)

写真提供:リアス・アーチ美術館

1F



1階の展示フロアは被災物や被災当初の写真などが多数展示されています。一歩足を踏み入れば、当時の光景が目の前に再現されたかのような錯覚を味わうこととなります。



引き波によって歪んだ線路



海岸の模型



気仙沼向洋高校

あの日、あのときの**記憶**を忘れないために

東日本大震災は、2011(平成23)年3月11日14時46分に発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波および地震によって起こった福島第一原子力発電所事故を含めた大規模地震災害です。

宮城県全体の被害

- 住宅被災棟数:470,133棟
- 人的被害:15,930人

気仙沼市の被害

- 住宅被災棟数:15,815棟
- 人的被害:1,432人

※被害数は宮城県HP→東日本大震災の地震被害等状況及び避難状況について→地震被害等状況及び避難状況→2019(令和元年)1月10日情報公開を参照。気仙沼市内での負傷者、床下浸水は「不明」となっている為、計上せず。
またその他地域において「不明」、「調査中」があります。



浸水した市街地



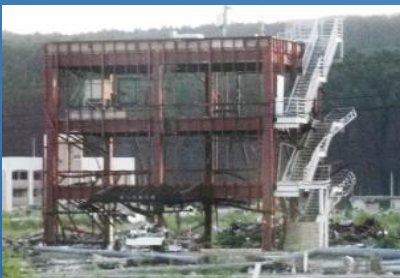
提供:気仙沼観光コンベンション協会様
大量に流れ着いた瓦礫や流木



提供:気仙沼観光コンベンション協会様
津波の被害を受けた気仙沼線
大谷海岸駅付近

震災遺構

震災遺構は、次世代や未来に大きな震災があったという事実を教訓として伝えてくれます。



想定より高い津波によって多くの犠牲者が出た防災庁舎跡



小泉小学校に設置された津波の脅威を後世に伝える石碑

気仙沼市と愛知県をつなぐ架け橋になろう

あなたが気仙沼市に行くことで気仙沼市の復興は一步前に進むことができます。

当冊子の制作にあたり

2011年に発生した東日本大震災から9年が経ち、仮設住宅から公営住宅へ移る方が増えたことや建物は元の状態に近づきつつあり、年々現地は復興へと近づいています。震災当初から訪問し、毎年復興に近づく現地を実際に見て感じるのには、本吉町をはじめとする気仙沼市には多くの魅力があるということです。しかし、年が経つにつれ私たちの記憶から東日本大震災は薄れつつあります。そこで、震災の記憶を多くの人の記憶にとどめ、様々な問題がある中で現地の魅力を伝えたいという思いから当冊子を作成しました。当冊子を制作するにあたり協力して下さった宮城県気仙沼市の関係者の皆様へ心からの感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

【中部大学 ボランティア・NPOセンター】

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 中部大学29号館(クラブハウス棟)3・4階

TEL 0568-51-1111(ガイドアナウンス→1→内線番号2925) / FAX 0568-51-2883

URL <http://www3.chubu.ac.jp/v-npo/>